

紙一重

毎日の家事が楽になれば、生活がもっと充実するはず！
そんな人へ、家事が楽しくなる“新常識”をご紹介します。

洗濯表示

洗濯表示が「ドライ」の洋服は、
洗濯機の「ドライコース」で大切に洗っています

ドライ表示はセルフ洗濯NG

ドライ表示の服も、洗濯機の「ドライコース」で洗っていませんか？「ホームクリーニング用の洗剤を使えば、洗濯機で洗っても大丈夫」というのは大きな勘違いです。ドライクリーニングは、石油系の特殊な溶剤で洗う、プロの洗濯方法。水洗いが不可でドライ表示のある衣類は、クリーニング店に依頼しましょう。

旧洗濯表示には、要注意

2016年12月に、洗濯表示が改正されました。旧表示の「記号が表す洗い方をおすすめする」という基準を、「回復不可能な損傷を起こさない、最も厳しい処理・操作の情報」を表す国際基準に統一。洗濯表示の信頼性が高まりました。表示通りに洗濯をすれば、ほぼ問題ありませんが、現在はい移行期です。新旧どちらの表示

示が見定めましょう。

洗濯表示は左から確認しよう
新洗濯表示は、大きくわけて5種あり、左から、洗濯方法、漂白、乾燥、アイロン、クリーニング店での処理方法の順で記載されています。洗濯表示の確認は、「左から」が鉄則。水洗いと漂白が可能なら、おむね、家庭で気軽に洗える衣類だと判断できます。

アイロンがけ

丁寧にアイロンをかけたシャツは、
すぐにハンガーにかけてクローゼットに収納しています

アイロン後はパタパタが必須

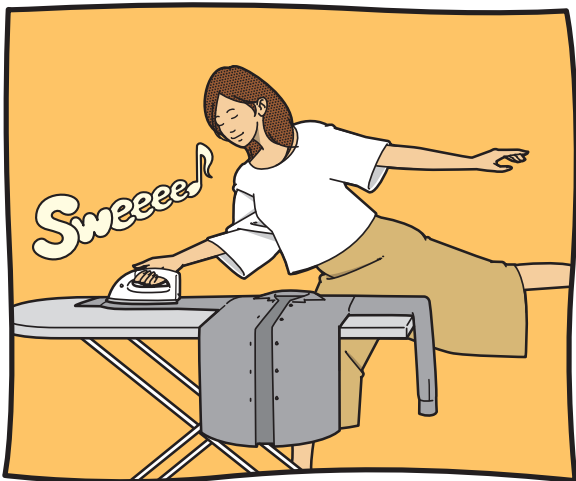
アイロン後の衣類を、すぐにクローゼットに収納していませんか？じつはそれ、シワ戻りの原因です。シワを戻さないコツは、衣類に湿気や熱気を残さないこと。そこで、アイロン後の衣類をハンガーにかけたら、「パタパタ」と振りまじょう。こうすることで、湿気が飛び、こもつていた熱気がクールダウンします。

アイロンは立ってかけるべし

「正座」でアイロンをかけるより、立った方が効率的。重心がかけやすく、最小限の力でシワが伸ばせます。また、シャツの袖などを、台から垂らせるのもメリット。余計なシワやヨレがでず、キレイに仕上げられます。

蒸気は最初の一かけで使おう
アイロンの蒸気は、シワを伸

ばすための必需アイテム。使いたちころをマスターすれば、アイロンがけが楽になります。ワイシャツの袖にアイロンをかける場合、まずは蒸気を出しながら、袖口から肩まで一気にかけます。その後、スチームをオフにして、肩から袖口まで戻れば、完成。蒸気のオンとオフを駆使できれば、難易度の高いワイシャツのアイロンがけもスムーズです！



[監修] 中村祐一 / 洗濯アドバイザー